

## 2023 年度懇親会報告

太田 寛 (S58 山東 33 回 継世会)

卒業生の皆様、こんにちは。昨年の7月17日に開催した、山中・山東同窓会懇親会の報告をいたします。一昨年に引き続き、庭園の眺めが素晴らしい、ホテル椿山荘東京にて開催いたしました。COVID-19（コロナ）による各種制限が漸く全面解除された後の開催ではありましたが、念のため、一昨年同様、着席スタイルの開催とさせていただきます。昨今の値上げラッシュを受けやむを得ず参加費を値上げさせていただきましたが、盛夏の中、137名のご参加をいただきました。昨今の国内外の状況を鑑み、懇親会のテーマは、「集える喜び、再始動から飛躍へ」とさせていただきます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。

幹事団は、シニア幹事団を我々継世会、ジュニア幹事団を天成会（H10 山東 48 回 天成会）が準備・運営を担当いたしました。当日は、ご来賓として、山形県東京事務所の黒田所長、山中・山東同窓会の高橋会長、山東の須貝校長、継世会恩師の木口先生、天成会恩師の相馬先生をお迎えし、ご挨拶をいただきました。木口先生は私の高校一年時代のクラス担任で、高校時代の現国授業での自身の不真面目な態度を思い出しながらの、懐かしいと同時に恐縮しきりの再会でした。

今回は、コロナ禍のため中断していた日本酒振舞い酒を、山形市東京事務所のご協力のもと、復活させることができました。また、例年時間枠を設けて行っていた幹事団の余興は、限られた時間を有効活用するという意味で、ご歓談タイム枠のBGMとして、懐かしい写真の映写と共に、実行委員長のギター弾語りとして披露させていただきました。振舞い酒も含め、ご参加いただいた皆さんがご歓談タイムで集える喜びをご堪能いただけたことと思っております。加えて、山形市商工観光部提供の品と実行委員長の実家の水餃子、山形農協のネットサービスを活用した品々による大抽選会を行い、会は大いに盛り上がりました。その後、次年度幹事団ご挨拶、副実行委員長からの閉めの挨拶、集合写真撮影と続き、盛況のうちに、閉会

を迎えることができました。

例年通り、「でん六豆」をご提供いただいた（株）でん六様も含め、ご協力いただいた皆様、本当に、ありがとうございました。



さて、ここからは、実行委員長をやってみての所感を書いていきたいと思います。一昨年末から開催当日まで、還暦直前の多忙な日常の中、幹事団メンバーと共に準備と集客を行いましたので、全てが大変の一語に尽きる7か月間でした。卒業から早40年、幹事団メンバーを集めるだけでも大変、そもそも継世会は関東在住者が少ないというハンディを抱えていましたが、遠方から駆けつけてくれた同期も含め、奇跡的に総勢30名（シニア：20名、ジュニア：10名）での当日運営を行う事が出来ました。ただ、過去一度も懇親会に参加したことがないメンバーばかりの幹事団になってしまい、手探り状態での準備活動はありましたが、先輩諸氏の助言と協力を頂きながら、なんとか開催できたような次第です。その為、至らない点が多々あったかと思えます。しかし、会を運営しているのはプロのイベント屋ではありません。「あれがダメ、これがダメ」ではなく、「あれをやってあげよう、これに協力しよう」という温かい目と手で、今後の幹事団の運営にご協力いただけることをお願いします。

昨年の参加者内訳をみると、S60以降の卒業生は約2割でした。懇親会が永く続くには、若手の参加人数が増えることが重要です。若い卒業生の皆さん、是非、ご参加ください。懇親会を卒業生全員で盛り上げていきましょう。

今年の幹事団は双鬘会の皆さんです。楽しい会を期待しています。それでは、皆さん、今年の懇親会でお会いしましょう！